



茜の空

令和6年度 第5号

発行日 9月2日(月)

練馬区立石神井南中学校

校長 木原 賢三

平和の祭典 オリンピックから学ぶこと

校長 木原 賢三

43日間の夏休みが終わり、校舎に生徒たちの元気な声が響き渡り、活気あふれる学校が戻ってきました。7月24日から2泊3日で行われた武石イングリッシュキャンプでは、「Let's challenge together! ~みんなで挑戦!世界を広げよう~」のスローガンのもと、英語にチャレンジすることを通して、英語を楽しむとともに、仲間とのコミュニケーションを深めて新しい世界を広げ、大きく成長することができました。「聴く」「話す」等のコミュニケーションの中で人間関係を深める上で、改めて「聴く」ということが、大切なことが実感できた行事となりました。また、部活動や海外派遣においても、本校の生徒の活躍と頑張りが発揮された夏休みでした。

さて、夏休み中に行われたパリ五輪では、夢をつかもうと、最後まで力を尽くすアスリートの姿に感動させられるとともに、多くの日本人選手の活躍に一喜一憂し、その笑顔と涙に胸を熱くさせられました。特に、スケートボード女子で金メダルを獲得した吉沢恋(ここ)選手は、14歳の中学生で、決勝で「練習でもほぼ成功したことがない」という大技を鮮やかに決め、素晴らしい活躍を見せてくれました。今大会は、ロシアのウクライナ侵略やパレスチナ自治区ガザへのイスラエルの攻撃が続く状況下で開催され、勝敗を超えて相手を称える姿に、改めて平和の尊さを実感することができた大会でした。閉会式でI O Cのバッハ会長は「五輪は平和を作り出すことはできないが、平和を鼓舞する文化は作ることができる」という話をされていました。平和でより良い世界の構築に寄与するという五輪の精神を強く感じるすることができました。日本においても、79年前に悲惨な戦争があり、多くの尊い命が失われました。そして、悲惨な戦争を二度となくし、恒久の平和を念願して日本国憲法が定められました。一方、世界各地で戦争の火が途絶えることなく、今なお多くの尊い命が失われています。

戦争から学べること。それは、人には生きる権利がある、人の命の重みに差は一ミリもない、ということだと私は思いました。戦争で亡くなられた方々の命はもう取り戻せないし、戦争に苦しめられた人々の時間ももう返ってきません。戦争という歴史を無駄にしないためにも、戦争のない今を生きる私達が、人の命も自らの命も大切にできる世の中にする必要があります。

本校では、「豊かな心を育む」ことを学校の教育目標の第一に掲げ、平和学習を重要な柱の一つとして取り組んでいます。そして、平和学習の大きな目的は、すべての人の命と人権が尊重され、みんなが安心して暮らせる社会を創っていくことです。そのために、すべての教育活動を通して、自分を理解するとともに、自分とは価値観が異なる他者についても違いを違いとしてお互いの人権を認め、尊重していくことが大切であることを学ばせ、社会で生かし、貢献できるようになることが大切であると考えます。石南中で学んだ生徒たちが、誇りと自信をもち、石南中プライドを育み、社会で活躍できるようになることを願っています。



いよいよ2学期がスタートし、学校生活が始まります。2学期は、修学旅行、職場体験をはじめ、合唱コンクールなど様々な学校行事が行われるとともに、自分と真剣に向き合い、「自分探し」に取り組む進路を考え、決める1年間の中で最も充実した学期となります。石神井南中生として誇りと自信をもって学校生活をおくり、石神井南中プライドを輝かすことができるようにしてほしいと願っています。

表彰 ～石南中生の活躍～

◆吹奏楽部 第64回 東京都中学校吹奏楽コンクール

B組 金賞



令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

文部科学省が毎年4月に全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施している調査で、今年度は4月18日に教科に関する調査(国語・数学)と、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査が実施されました。

平均正答率(%)

教科	本校	東京都	全国
国語	70	61	58.1
数学	65	57	52.5

本校の調査結果は国語、数学ともに全国や東京都の平均正答率を大きく上回っています。また、各教科ともに無回答率が低く、粘り強く真剣に問題に取り組んだことが見て取れます。

国語では「意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる」問題、「文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる」問題について、正答率が低く課題が見られました。図表や写真などを含む説明的な文章を読む際には、示されている図表などが、文章のどの部分と関連しているのかを確認するなどして、書き手の伝えたい内容をより正確に読み取ることが重要です。

数学では「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる」問題の正答率が低く、課題が見られました。表、式、グラフなどを用いて問題解決する場面を想定し、それらの用い方について数学的に説明できるようにすることが必要です。

また、質問調査では、以下の設問に対する回答で、本校生徒の学校生活への取組の様子が表れていました。

	肯定的回答	
(設問39)あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	本校	90.5%
	東京都	85.9%
	全国	86.3%
(設問41)道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	本校	97.1%
	東京都	92.3%
	全国	91.7%

1年生 イングリッシュキャンプ

7月24日(水)～26日(金) ベルデ武石

